



イノベーションで先へ行く!走れ!未来へ
ON THE RUN!

エラストマーで新事業の領域へ。
そこは時代の少し先にあります。

●医療機器・ヘルスケア機器 ●電子資材 ●新ソリューション

2020年3月期第2四半期 決算説明会

2019年11月18日

バンドー化学株式会社

3年連続選定


2019
健康経営銘柄



2019
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

I. 2020年3月期第2四半期 決算概要

II. 2020年3月期 業績予想

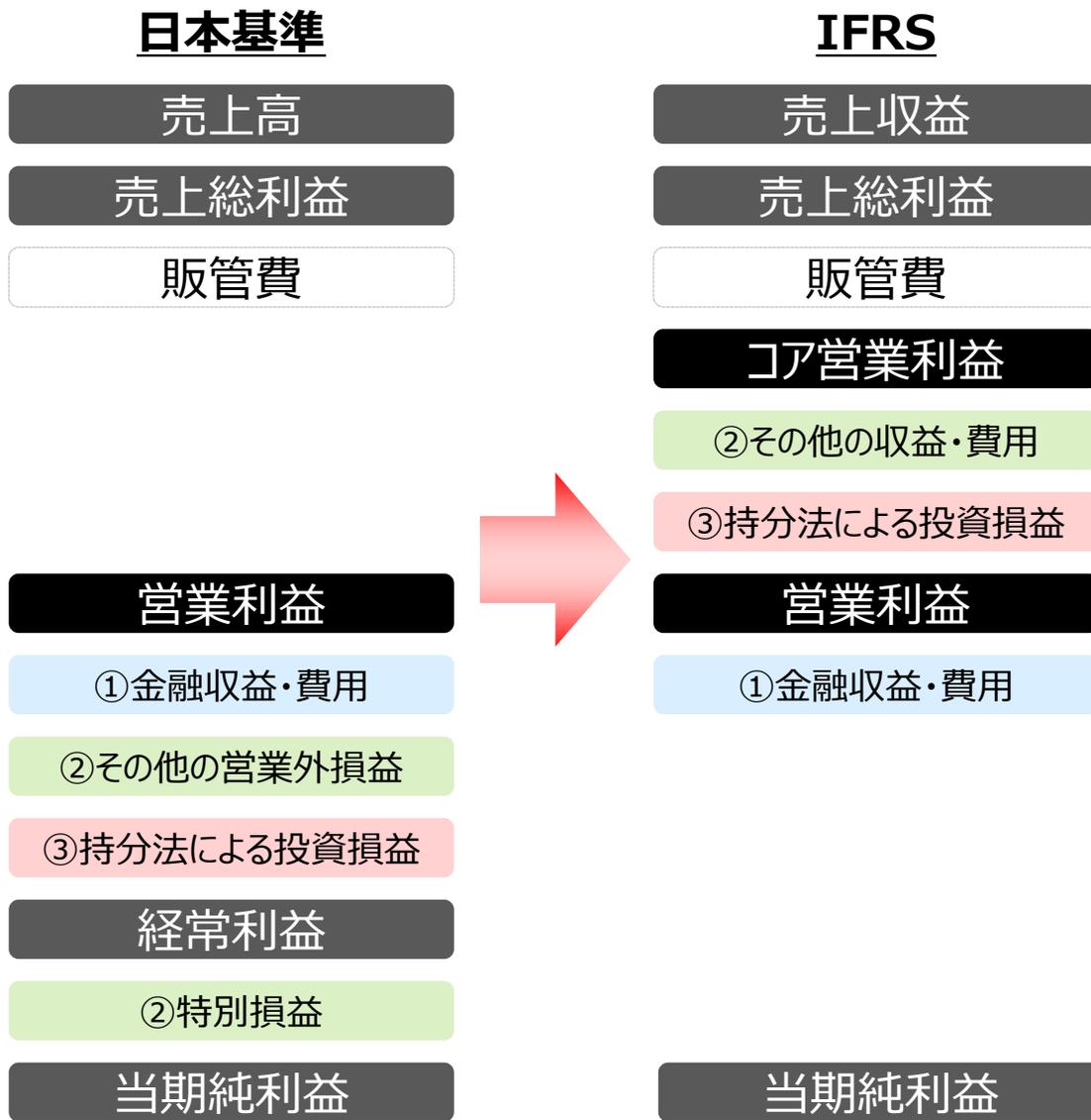
III. 中長期経営計画の取り組み

“Breakthroughs for the future”2ndステージ

IV. 参考資料

I . 2020年3月期 第2四半期決算概要

IFRS任意適用における日本基準からの変更点



コア営業利益 = 売上総利益 - 販管費

営業利益 = 売上総利益 - 販管費 ± ② ± ③

- 特別損失などが営業利益を構成する要素として計算される。

※①金融収益・費用(利息・配当金など)の項目は営業利益計算後に加減算

2020年3月期第2四半期 決算概要

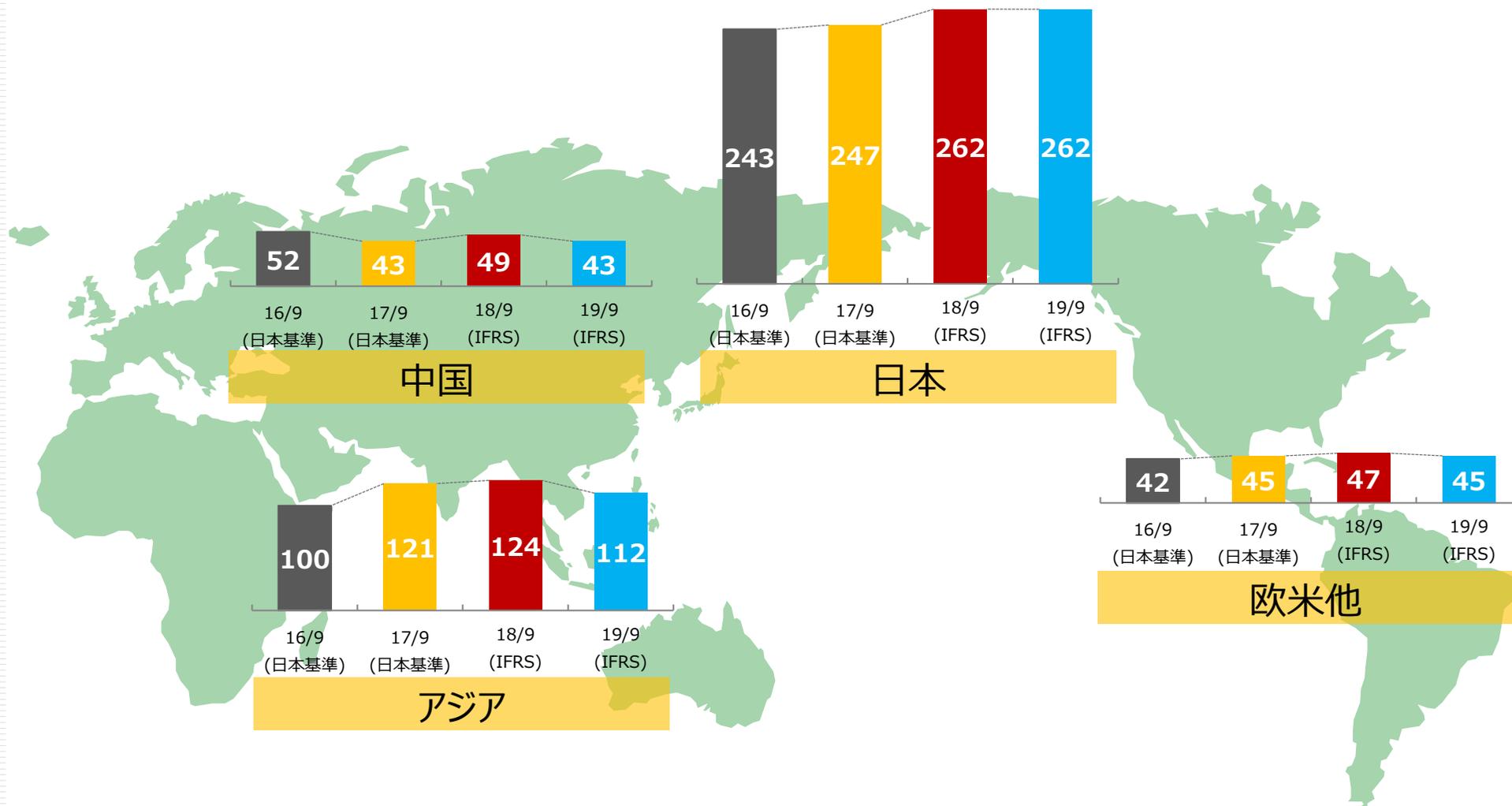


(百万円)

	2018/9	2019/9		2020/3	
	実績	実績	前期比	業績予想値	達成率 (対業績予想値)
売上収益	48,299	46,234	△2,064	93,000	49.7%
コア営業利益	4,034	3,019	△1,015	6,000	50.3%
営業利益	4,417	2,854	△1,563	6,000	47.6%
税引前利益	4,769	2,681	△2,088		
親会社の所有者に帰属する四半期利益	3,621	2,122	△1,499	4,500	47.2%

- 売上収益は、米中貿易摩擦の長期化の影響もあり、海外を中心に減収となった。
- コア営業利益は、子会社の新規連結による増益要因があったものの、既存事業において、減収およびセールスマックスの変動による売上原価率の悪化により、減益となった。
- 営業利益は、主に、リスク分担型企業年金への移行損の計上(△447百万円)により、減益となった。
- 税引前利益は、上記要因に加え、為替差損益が悪化に転じたこと等により、減益となった。

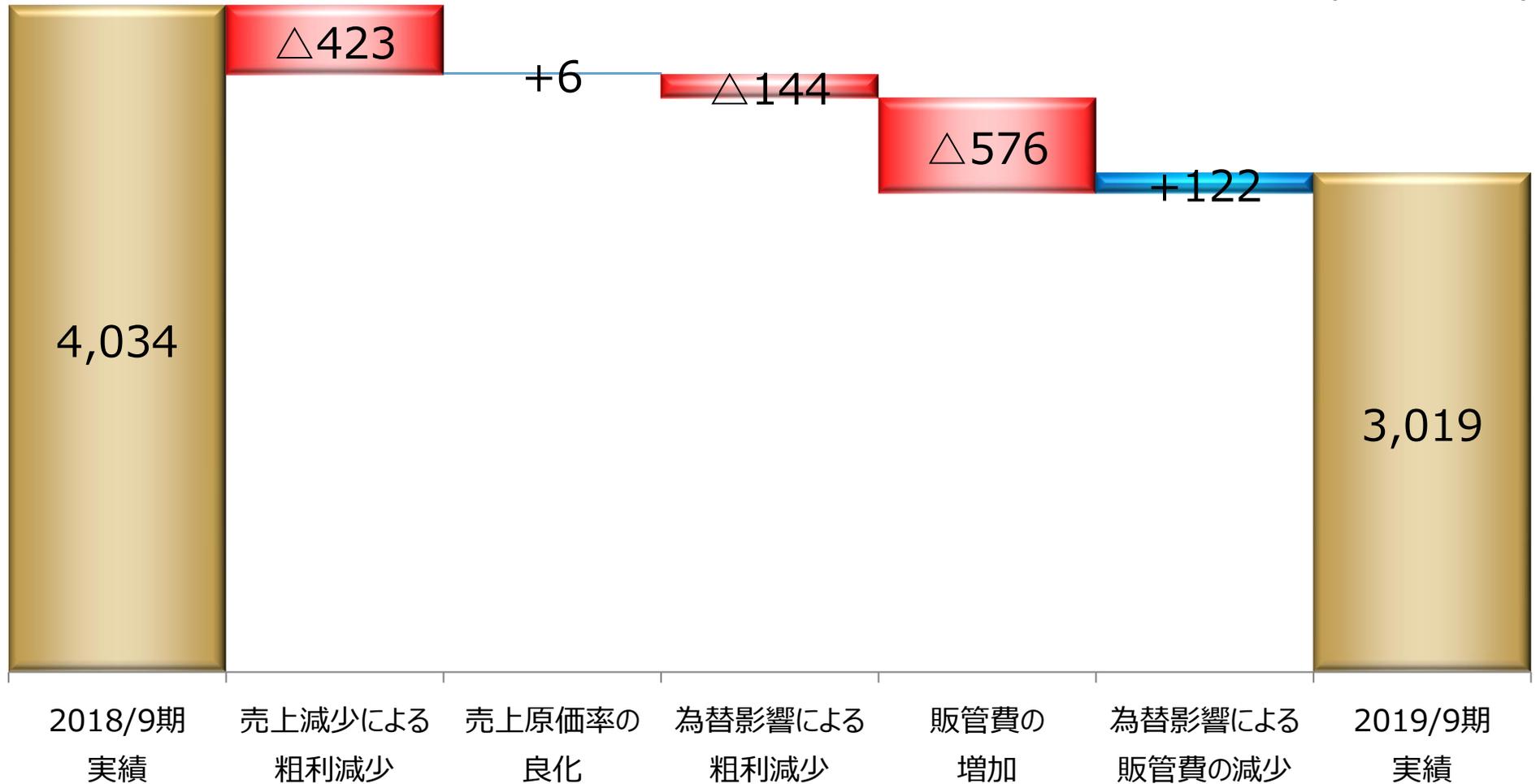
(単位：億円)



(注)所在地別売上高はセグメント間取引消去後。

2020年3月期第2四半期 連結コア営業利益 増減分析

(単位：百万円)



2020年3月期第2四半期 セグメントの状況

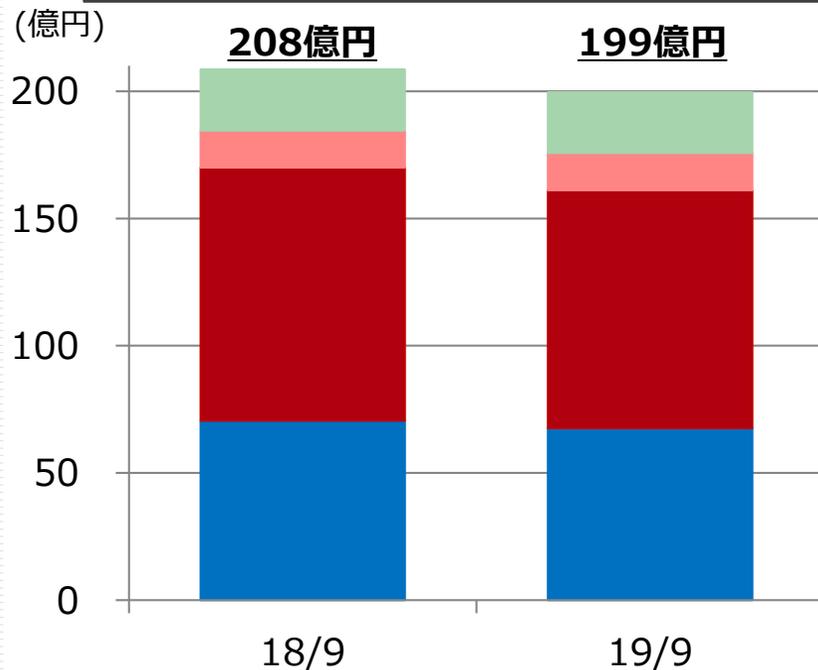


(百万円)

	2018/9	2019/9		
	実績	実績	増減額	増減割合
売上収益	48,299	46,234	△2,064	△4.3%
自動車部品事業	20,899	19,972	△927	△4.4%
産業資材事業	18,449	17,015	△1,433	△7.8%
高機能エラストマー製品事業	7,502	7,023	△479	△6.4%
その他	1,870	2,570	+700	+37.5%
セグメント間消去	△422	△347	+74	-
コア営業利益	4,034	3,019	△1,015	△25.2%
自動車部品事業	1,684	1,130	△553	△32.9%
産業資材事業	1,229	1,252	+22	+1.9%
高機能エラストマー製品事業	367	213	△154	△41.9%
その他	462	310	△151	△32.7%
セグメント間消去等	291	112	△179	-

自動車部品事業 概要

所在地別売上高



欧米他
(△0.7%)

- 米国において補修品の販売は増加したものの、当社製品搭載車種の生産台数の減少により販売が減少。

中国
(+0.3%)

- 積極的な顧客開拓に注力したことにより、補修品などの販売が増加。

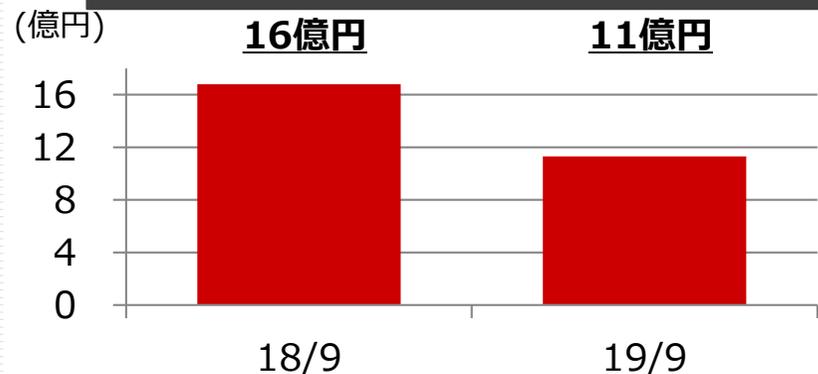
アジア
(△5.9%)

- タイにおいて補機駆動用伝動システム製品の販売が減少。
- インドにおいてスクーター用変速ベルトの販売が減少。

日本
(△4.3%)

- 補修品の販売は増加したものの、補機駆動用伝動システム製品の販売が減少。

コア営業利益

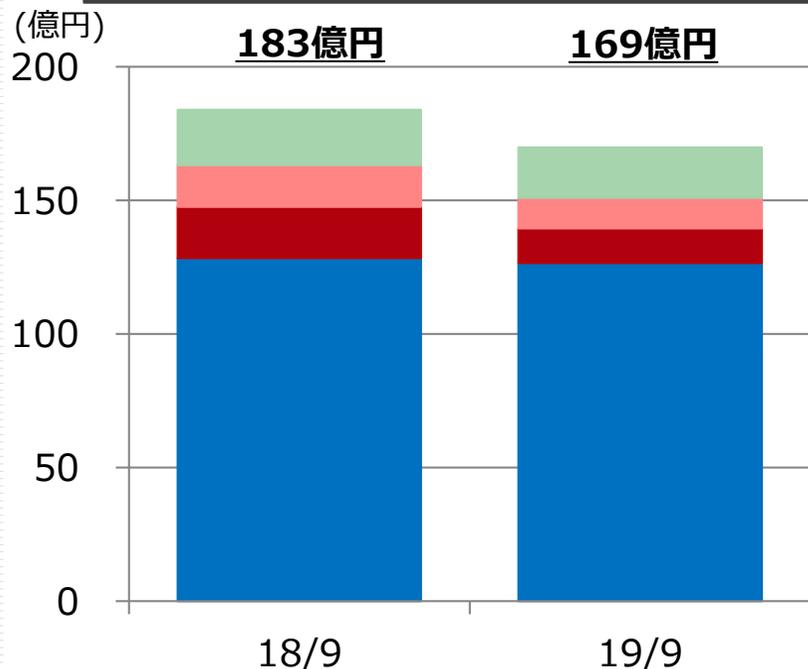


コア営業利益
(△32.9%)

- 販売の減少により、利益が減少。

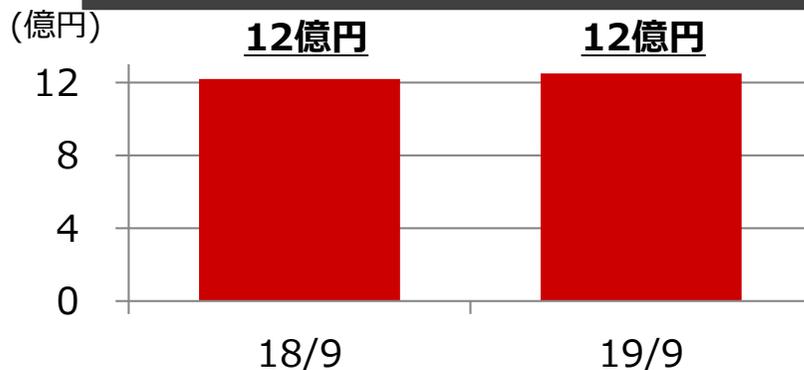
産業資材事業 概要

所在地別売上高



- | | |
|-----------------|--|
| 欧米他
(△8.9%) | <ul style="list-style-type: none"> ■ 米国においては、産業機械用伝動ベルトの販売が減少。 ■ トルコにおいては、経済の減速基調により、産業機械用伝動ベルトの販売が減少。 |
| 中国
(△26.6%) | <ul style="list-style-type: none"> ■ 農業機械用伝動ベルトなどの販売が減少。 |
| アジア
(△32.3%) | <ul style="list-style-type: none"> ■ 農業機械用伝動ベルトなどの販売が減少。 |
| 日本
(△1.5%) | <ul style="list-style-type: none"> ■ 機械受注の減速基調により、産業機械用伝動ベルトの販売が減少。 ■ 大型案件の増加により鉄鋼向けコンベヤベルトの販売が増加。 ■ 物流機器向け樹脂コンベヤベルトなどの販売が増加。 |

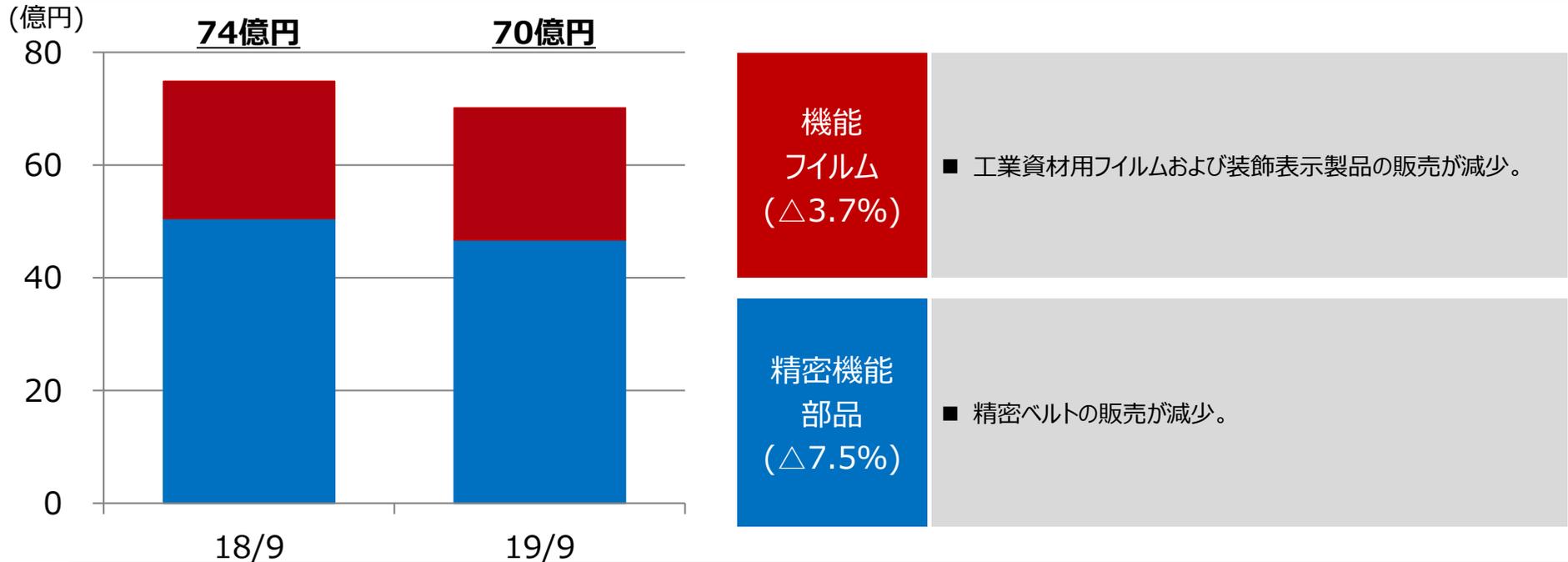
コア営業利益



- | | |
|-------------------|--|
| コア営業利益
(+1.9%) | <ul style="list-style-type: none"> ■ 前年度は取引先への不具合対応があったため、販売は減少したが、利益は増加。 |
|-------------------|--|

高機能エラストマー製品事業 概要

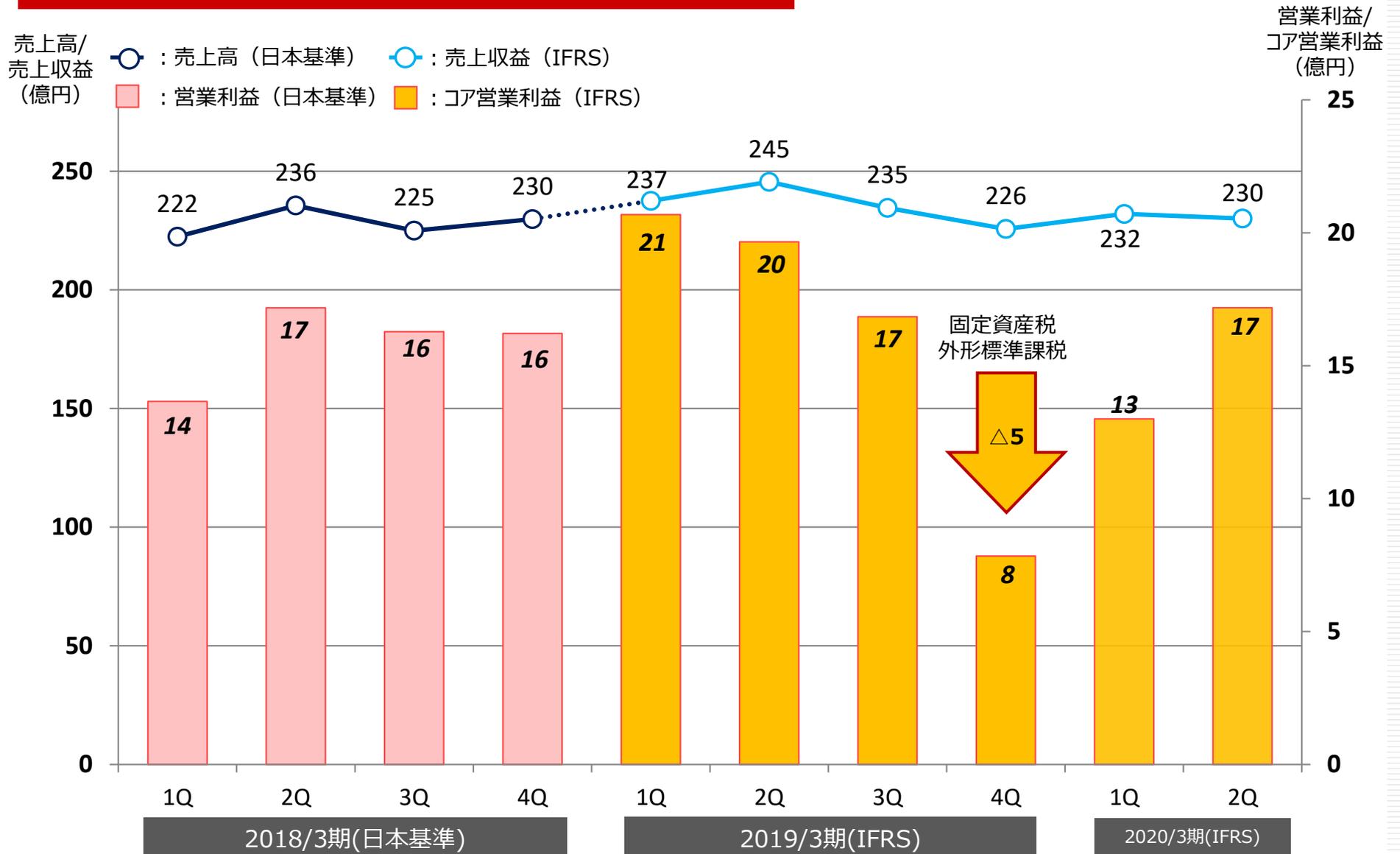
事業別売上高



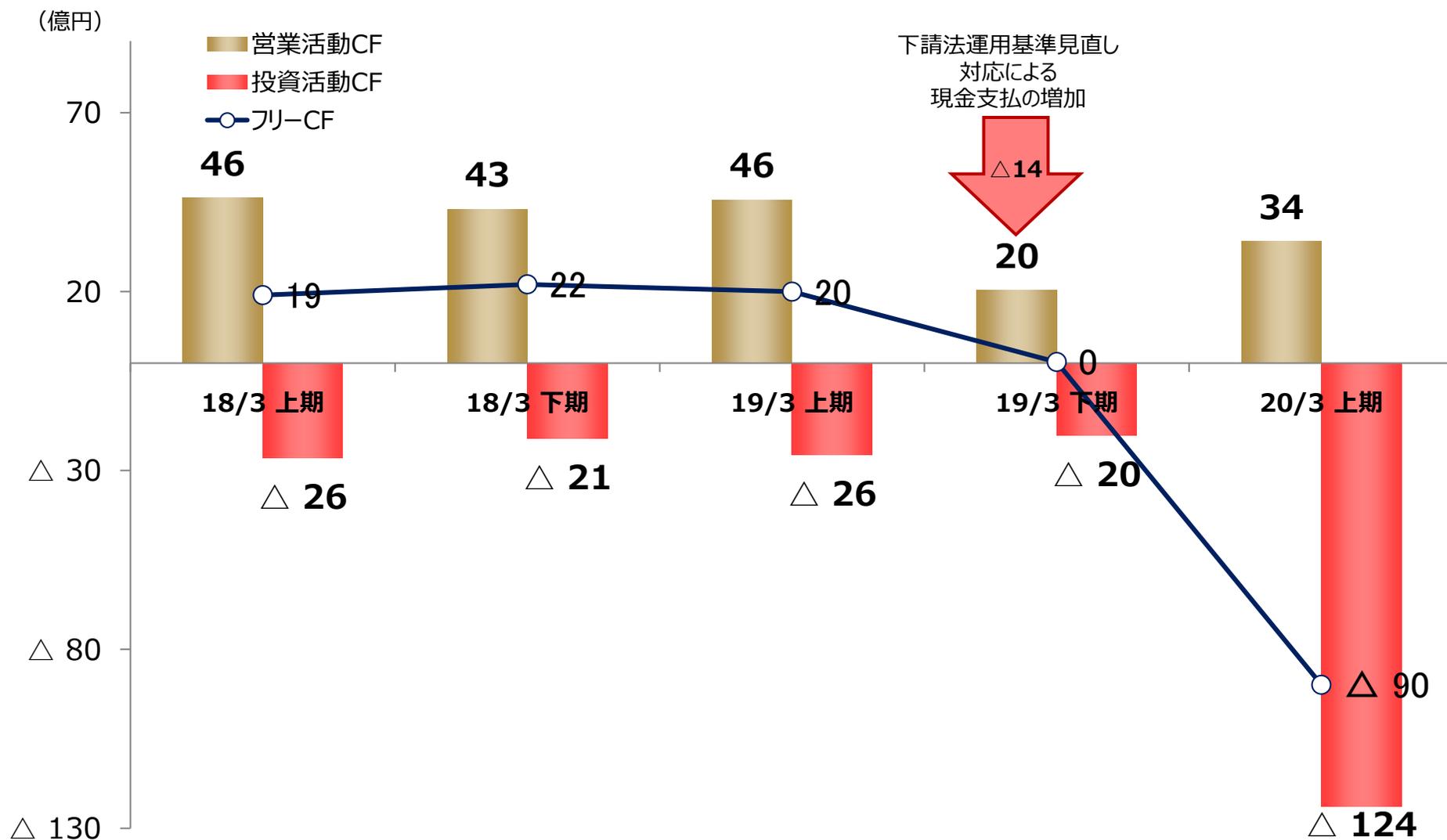
コア営業利益



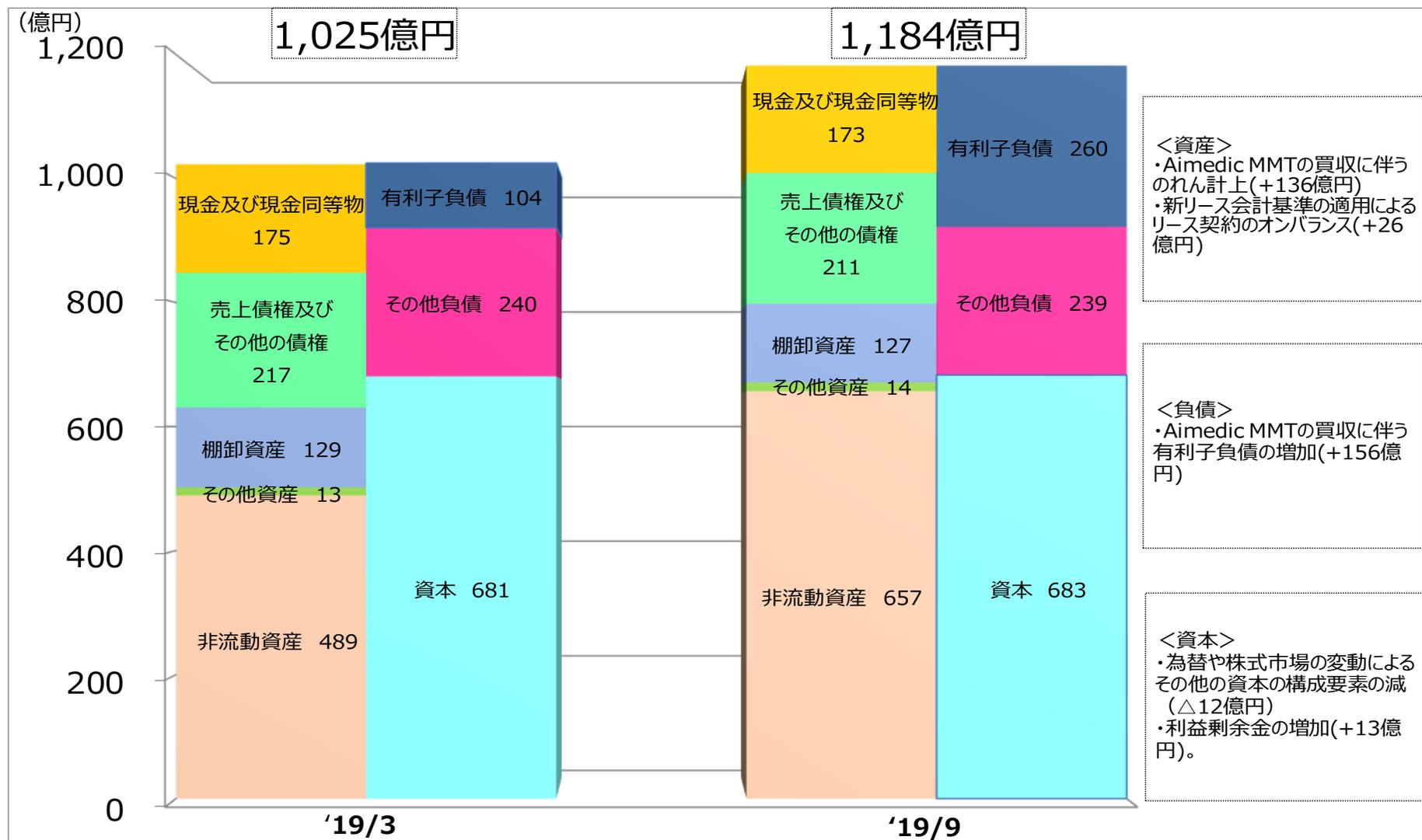
四半期推移 (売上収益/コア営業利益)

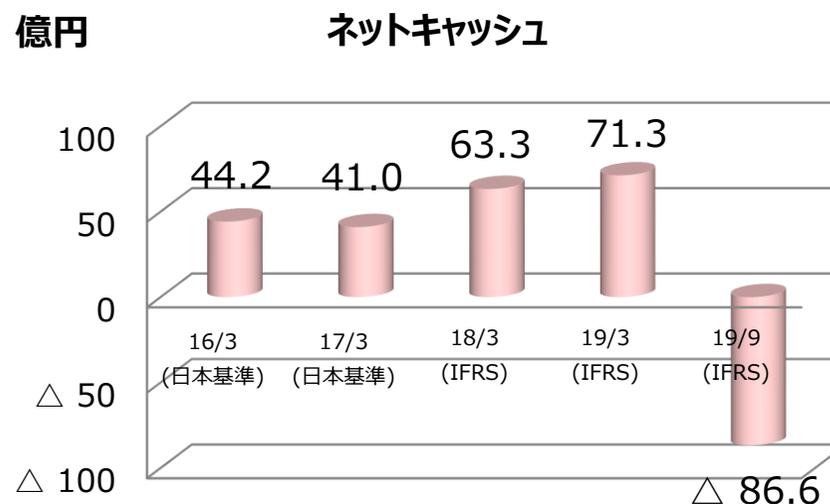
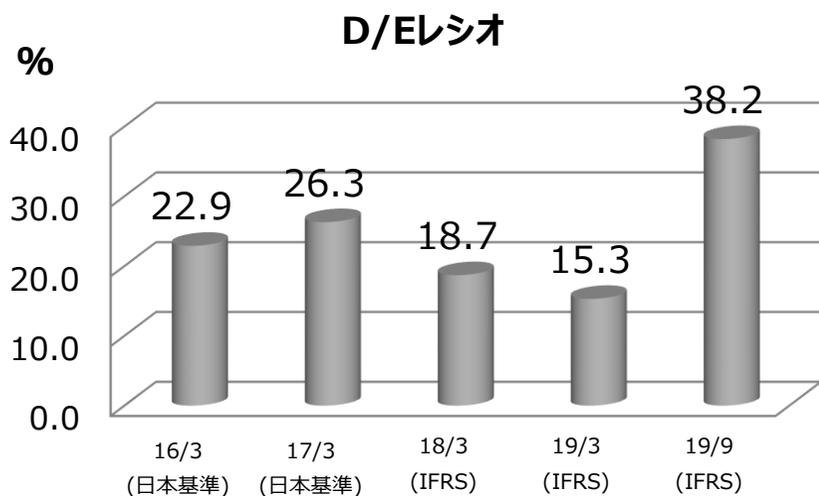
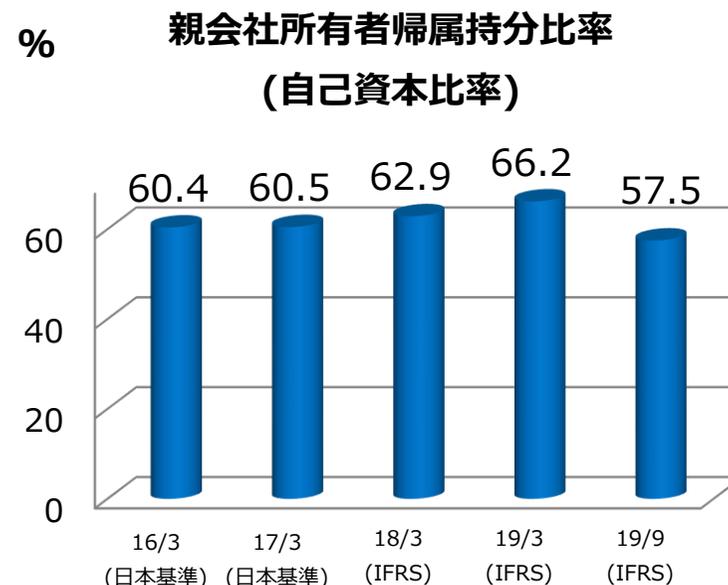
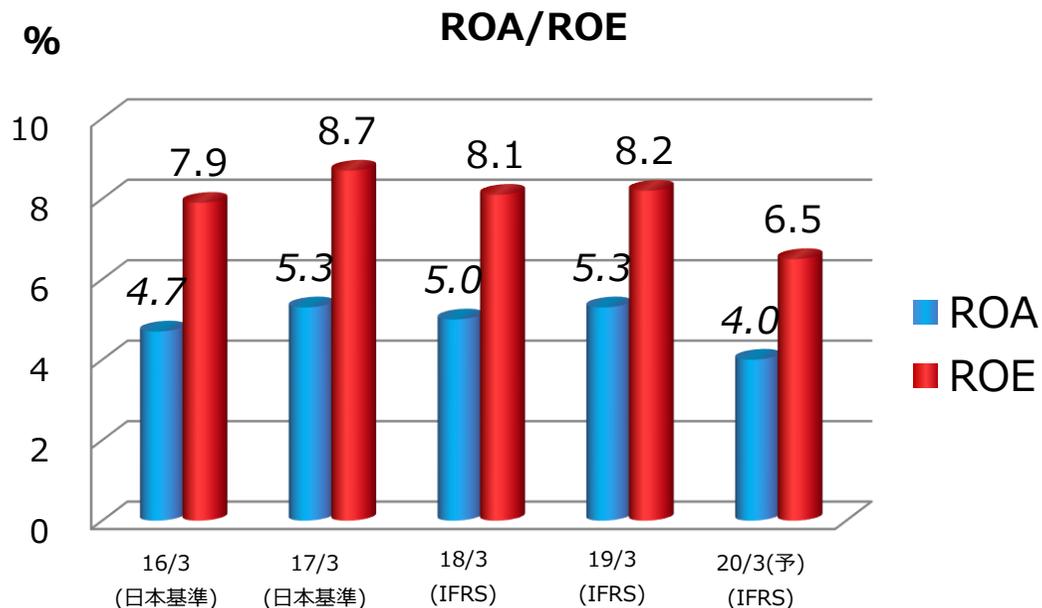


キャッシュフローの推移



連結財政状態計算書





主なトピックス

2019年

5月・医療機器メーカー株式会社Aimedic MMTの
全株式を取得し、子会社化

7月・「NANO KOREA 2019」に出展

・「2019国際食品工業展(FOOMA JAPAN2019)」に出展

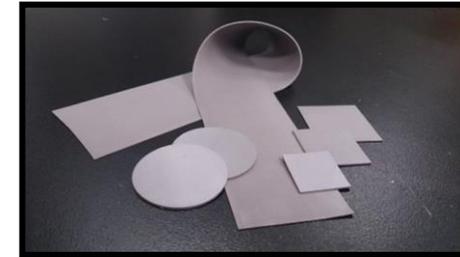
・「第2回 5 G/IoT通信展」に出展

8月・「CSR報告書2019」を発行

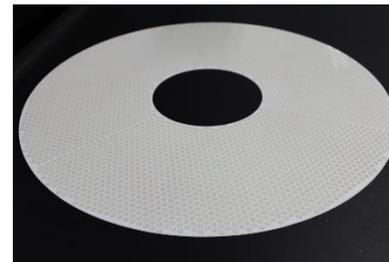
9月・「アニュアルレポート2018(英語版)」を発行



整形外科向けインプラント等の医療機器を提供する
「株式会社Aimedic MMT」



NANO KOREA2019
熱マネジメント関連製品を出品



5G/IoT通信展
研磨パッド「TOPX®」などを出品



FOOMA JAPAN2019
軽搬送ベルト「ミスターシリーズ」での課題解決を訴求



Ⅱ. 2020年3月期 業績予想

2020年3月期 業績予想



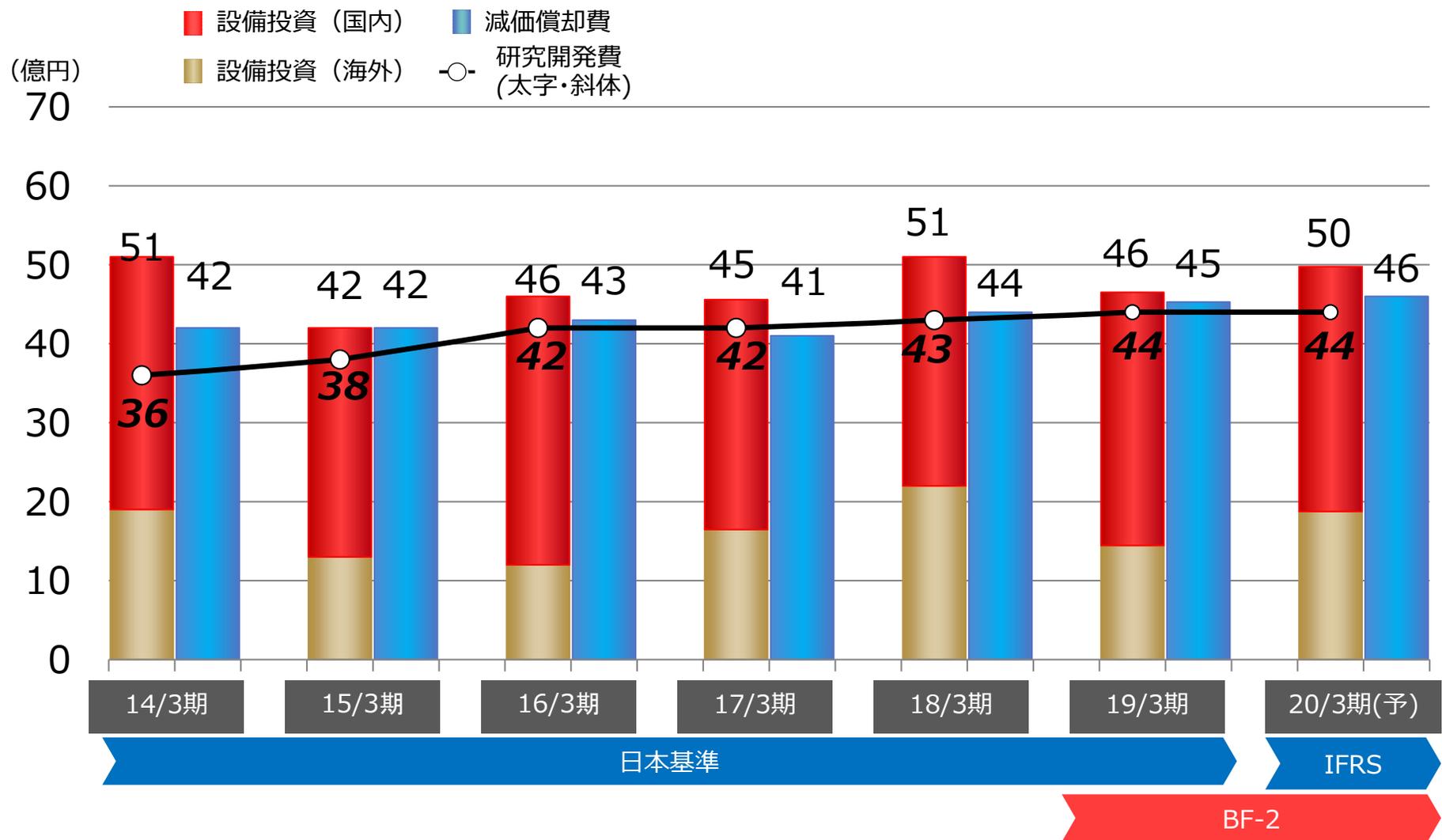
(百万円、%)

	2019/3 実績	2020/3 予想	前年同期比	
売上収益	94,318	93,000	△1,318	△1.4%
コア営業利益	6,503	6,000	△503	△7.7%
営業利益	6,815	6,000	△815	△12.0%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	5,457	4,500	△957	△17.5%

為替レート	U S D	111.04	106.83		
	T H B	3.43	3.40		
	人 民 元	16.49	15.42		

- 2019年8月9日に公表した業績予想から変更なし。

設備投資額と減価償却費、研究開発費の推移

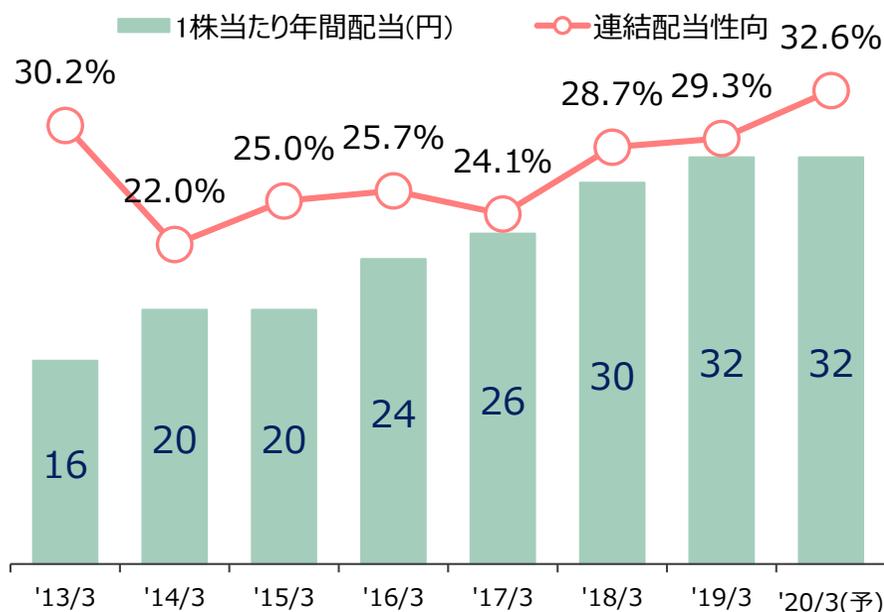


(注) 20/3期(予想)の数値は、(株)Aimedic MMTの株式取得を考慮する前のものとなります。
 20/3期(予想)の減価償却費の数値は、IFRSを適用した後の数値となります。

基本方針

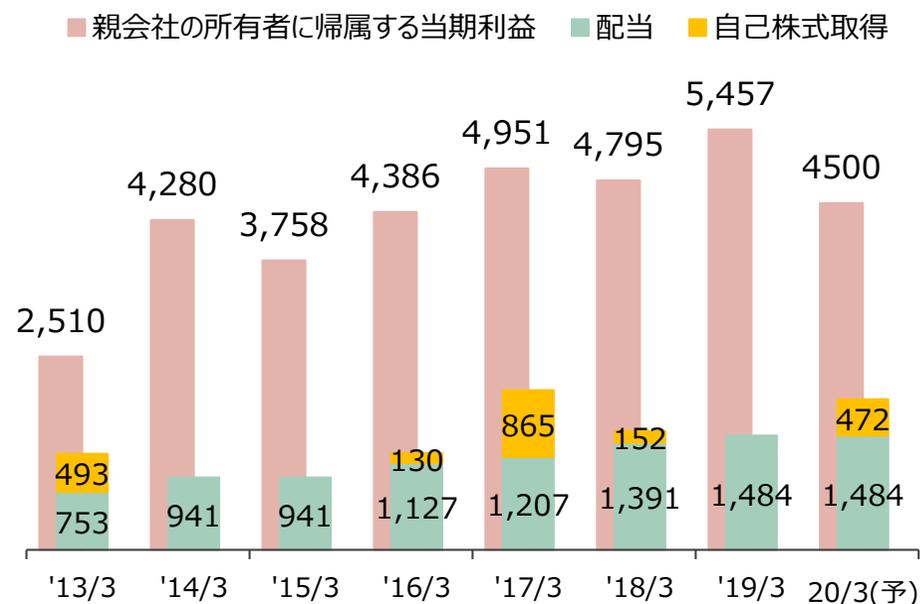
収益および財務状況を配慮しつつ、当面の連結配当性向は30%を目処に安定した利益配当を行うことを目標とし、利益還元の充実に努める。

1株当たり年間配当・連結配当性向の推移



株主総還元の推移

(単位：百万円)



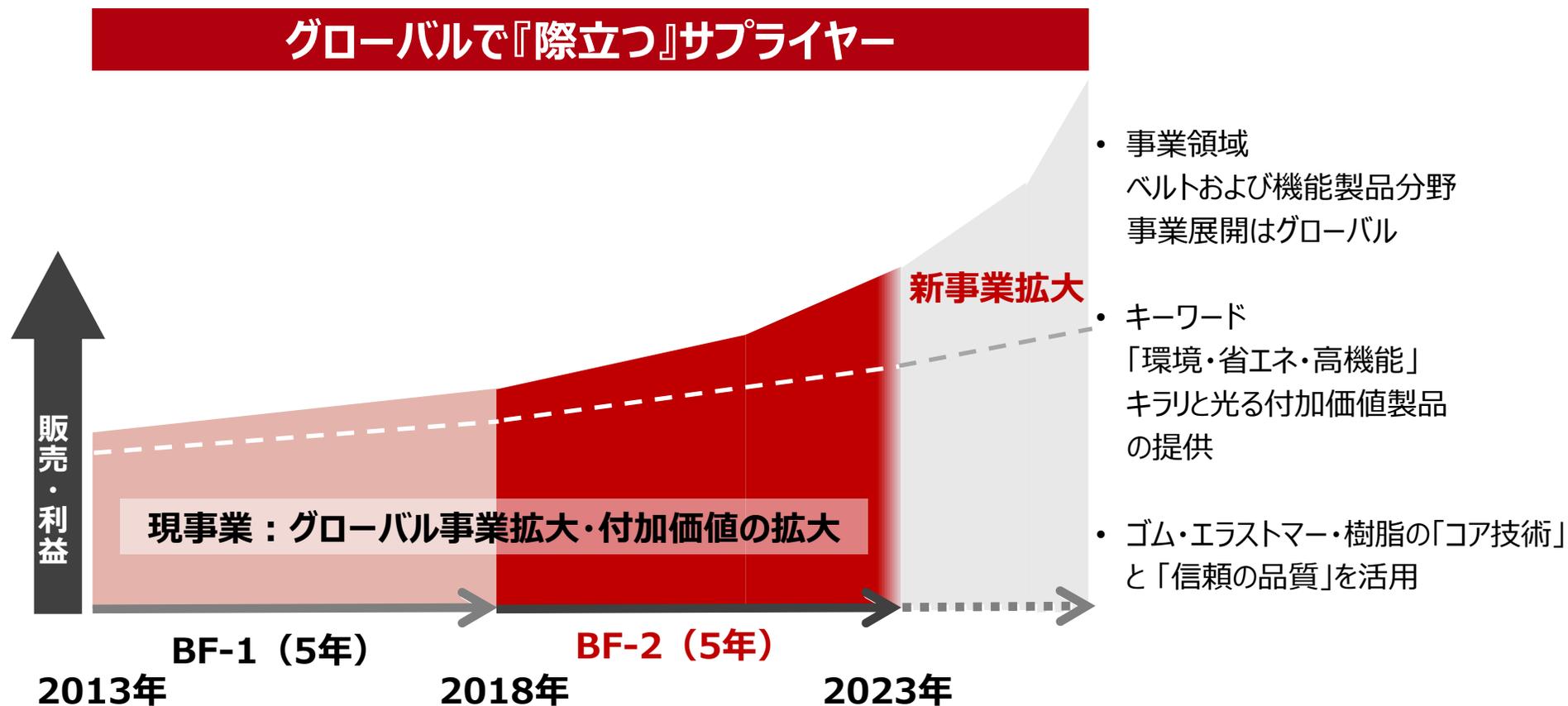
※2016年10月1日付にて普通株式2株につき1株の割合にて株式併合を実施しており、1株当たりの年間配当はこの影響を補正した数値を記載しています。

Ⅲ. 中長期経営計画の取り組み

“Breakthroughs for the future”2ndステージ

中長期経営計画“Breakthroughs for the future” 『未来への躍進』

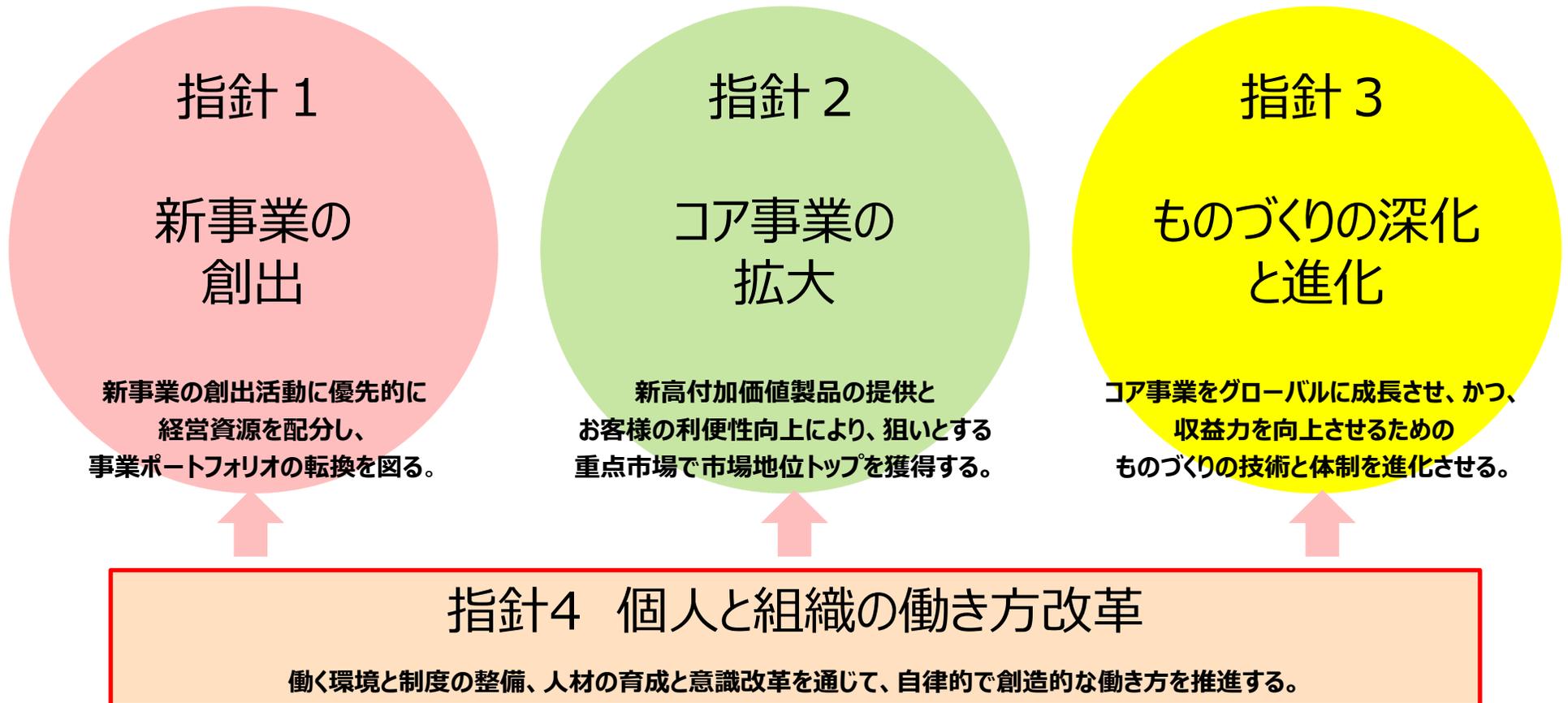
グローバルで『際立つ』サプライヤー



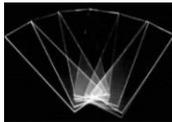
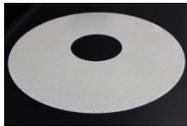
BF-2：目指す姿・基本戦略

目指す姿：グローバルで『際立つ』サプライヤー

新事業と現事業の両輪で持続的に成長



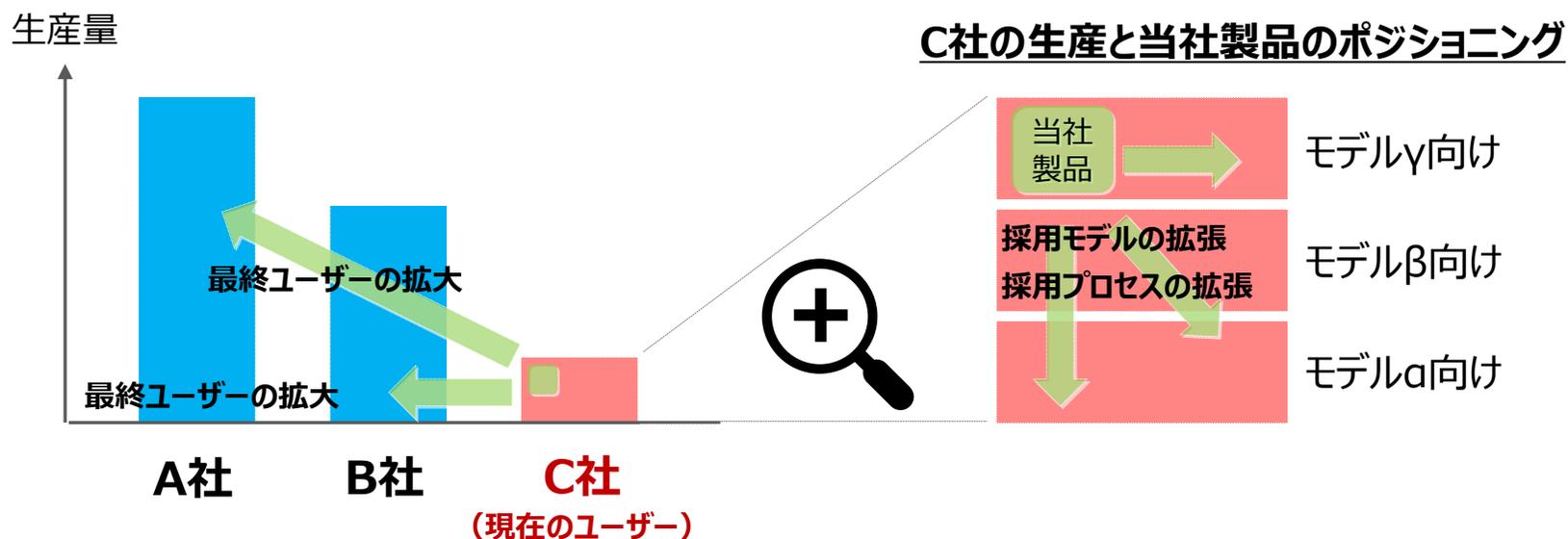
指針 1 : 新事業の創出① 電子資材事業

ターゲット	製品	取り組み状況等	注力市場
プリント エレクトロニクス	金属ナノ粒子インク 「FlowMetal®」 	<ul style="list-style-type: none"> 顧客における開発計画の変更等の影響から、新たな展開の模索を検討。 	ディスプレイ
オプト エレクトロニクス	光学用透明粘着剤 「FreeCrystal®」 	<ul style="list-style-type: none"> 日系/欧州自動車用途の引き合いに対応。選定獲得、評価ステージアップに注力中。 	産業機器ディスプレイ 車載ディスプレイ
	精密研磨材 「TOPX®」 	<ul style="list-style-type: none"> 需要増に対応可能な増産プロセスを構築。 	ディスプレイ(ガラス基板) ストレージ 半導体
パワー エレクトロニクス	高熱伝導放熱シート 「HEATEX®」 	<ul style="list-style-type: none"> 次世代パワエレ技術の有望資材として、車載用途のアプローチを継続。 家電メーカー等へのアプローチにも注力開始。 	パワー半導体
	金属ナノ粒子接合材 「FlowMetal®」 	<ul style="list-style-type: none"> 次世代パワエレ技術の有望資材として、車載用途のアプローチを継続。 	高周波デバイス 光半導体

売上増加に向け、精密研磨材「TOPX®」の需要開拓を積極化

取り組み① : 既存展開中のディスプレイ(ガラス基板)分野でのシェアアップ

【イメージ】当社製品のポジショニングとシェアアップのポテンシャル



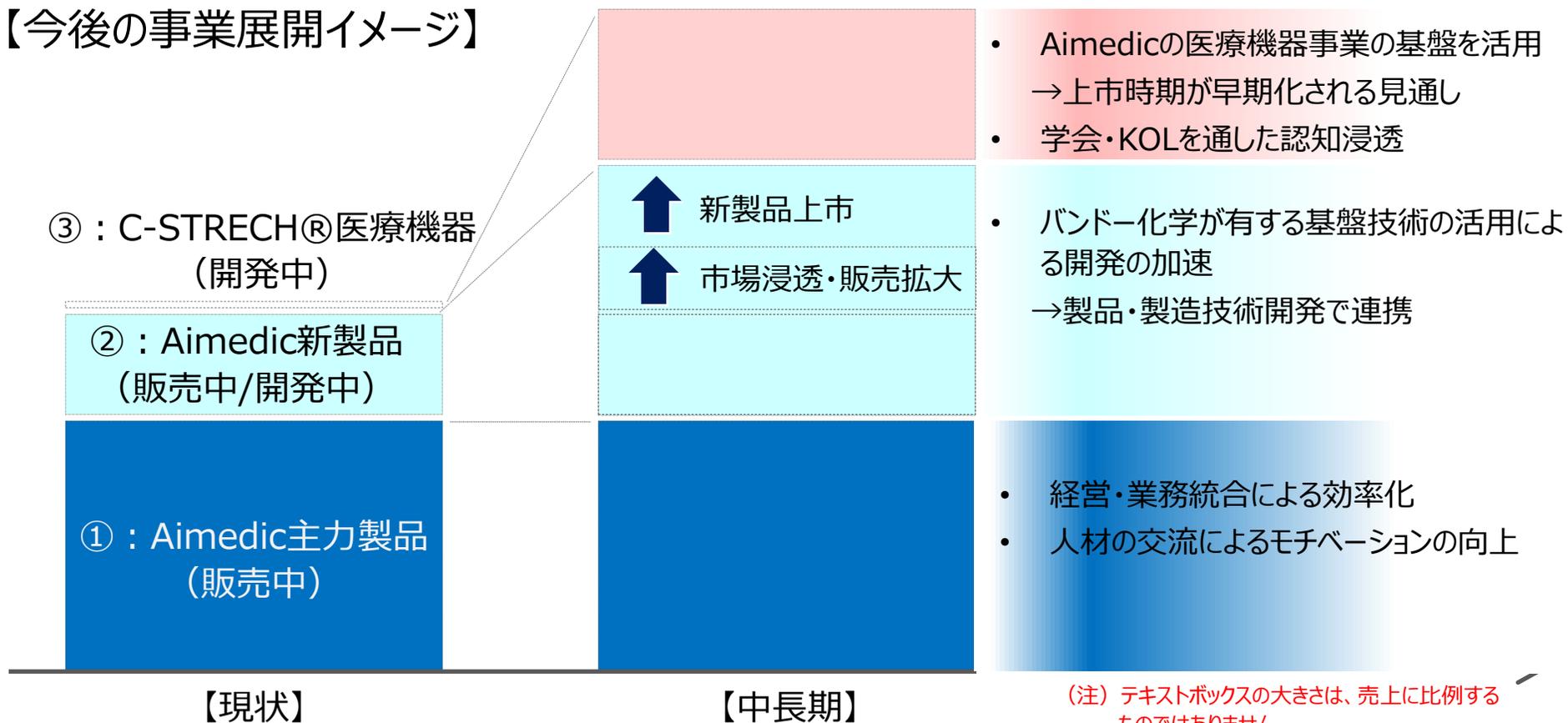
取り組み② : ストレージ分野での採用獲得による新たな需要獲得

取り組み③ : 難削材への対応、適用領域の拡張

指針 2 : 新事業の創出② 医療機器事業

**バンドー化学の基盤技術、Aimedicのノウハウ等を結集し、
新製品の事業化スピードをアップ**

【今後の事業展開イメージ】



(注) テキストボックスの大きさは、売上に比例するものではありません。

※KOL(Key Opinion Leader):医薬品等の販売促進に影響力のある医師などの専門家のこと

指針2：コア事業の拡大

既存市場減速等の影響。新たな需要の獲得を進行中

自動車部品 四輪

ラック式EPSベルトの受注増加、
製造ライン（初期）の稼働率上昇。
EPS：電動パワーステアリングシステム



- Tier1メーカーに販売
 - ・高級セダン
 - ・大型・SUV車

産業資材 農機用ベルト

畑作用大型農機向け市場の開拓、
製造ライン（1期）を準備。

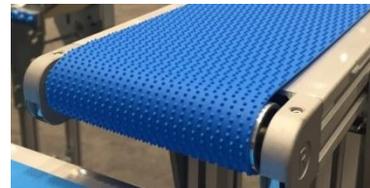


- ②非日系農機メーカー
- ③畑作用農機

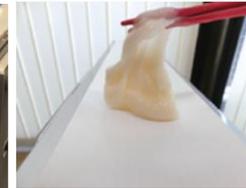
- ①日系農機メーカー
米作用農機

産業資材 軽搬送ベルト

「ミスターシリーズがあなたの工場の悩み
を解決します」をコンセプトにラインナップ
拡充。



2019年：ミスタースパイク™



2018年：ミスターウルトラミラー™

高機能 エラストマー製品 光学エラストマー 機能シート

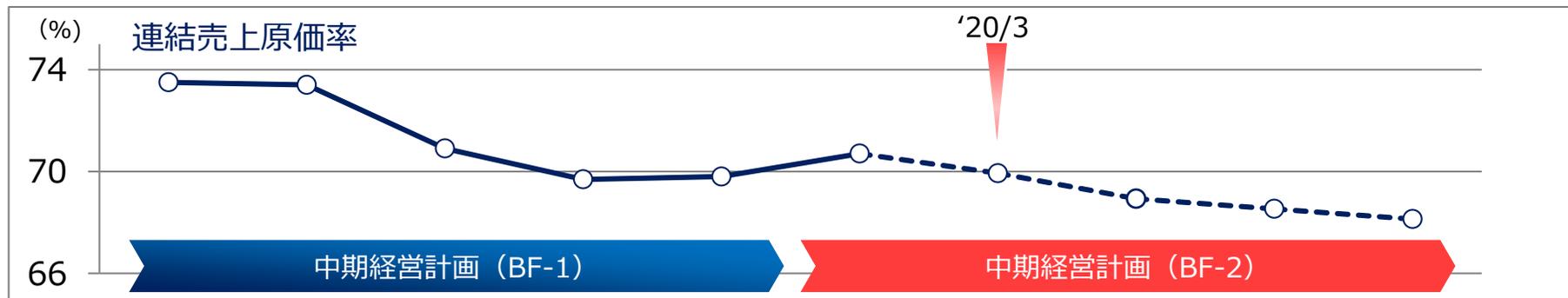
優れた自己修復性、耐擦過性により、
電子ペーパータブレット市場を開拓中。



- 日系メーカーに加え、中国
系メーカーへの量産を開始

指針 3 : ものづくりの深化と進化

コア事業をグローバル成長させ、かつ、収益力を高めるための、
ものづくりの技術と体制の進化



革新製法の開発

- 主要伝動ベルトにおける革新製法の開発。
- 自動化ラインの新規導入による省人化。

IoTとAI

- 予防保全のデジタルシステム化に向けた仕組み作り。

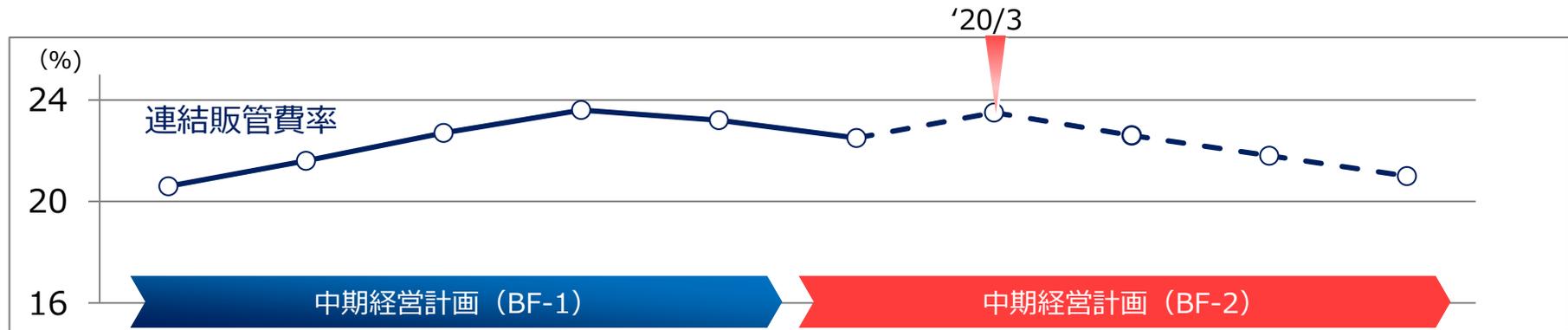
グローバル全体最適

- 大型農機VSベルトライン構築。
- 最適生産構想に伴うライン統合・生産移管。

連結売上原価率70%以下の定着

指針 4 : 個人と組織の働き方改革

“**間接部門の業務改善**”を重要テーマに掲げ、注力中



業務プロセスの改善

- 働き方改革部による約100業務のヒアリング、現状分析の実施。
- 業務プロセス改善に対する意識改革、業務改善提案の大幅な増加。

ITの活用

- 基幹システムの改修、RPA (※1) 化、EUC (※2) 等の対応の開始。

売上を伸ばす中、一人ひとりの生産性を高め、販管費率20%以下を実現

(※1) RPA : Robotic Process Automation / ロボティック・プロセス・オートメーション。

(※2) EUC : End User Computing / エンドユーザコンピューティング。

新事業の創出・事業ポートフォリオの転換

グローバルで『際立つ』サプライヤー

新事業と現事業の両輪で持続的に成長

Breakthrough :

中長期経営計画“Breakthroughs for the future”

(2013年度～2022年度)

新たな事業の基盤確立



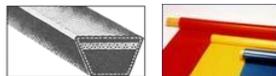
自動車・電子情報機械を中心に成長



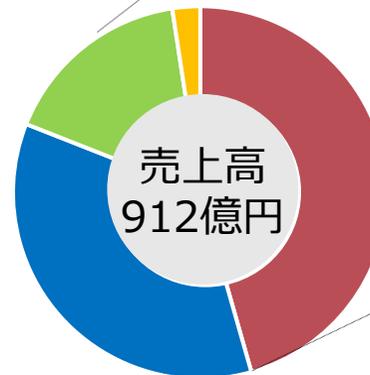
重化学産業・農業(機械)を中心に成長



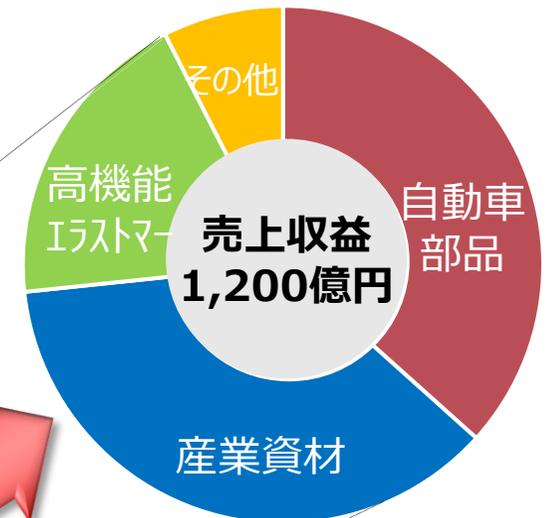
繊維・工業で成長



2017年度実績



2022年度計画



“Breakthroughs for the future”

『未来への躍進』

3年連続選定



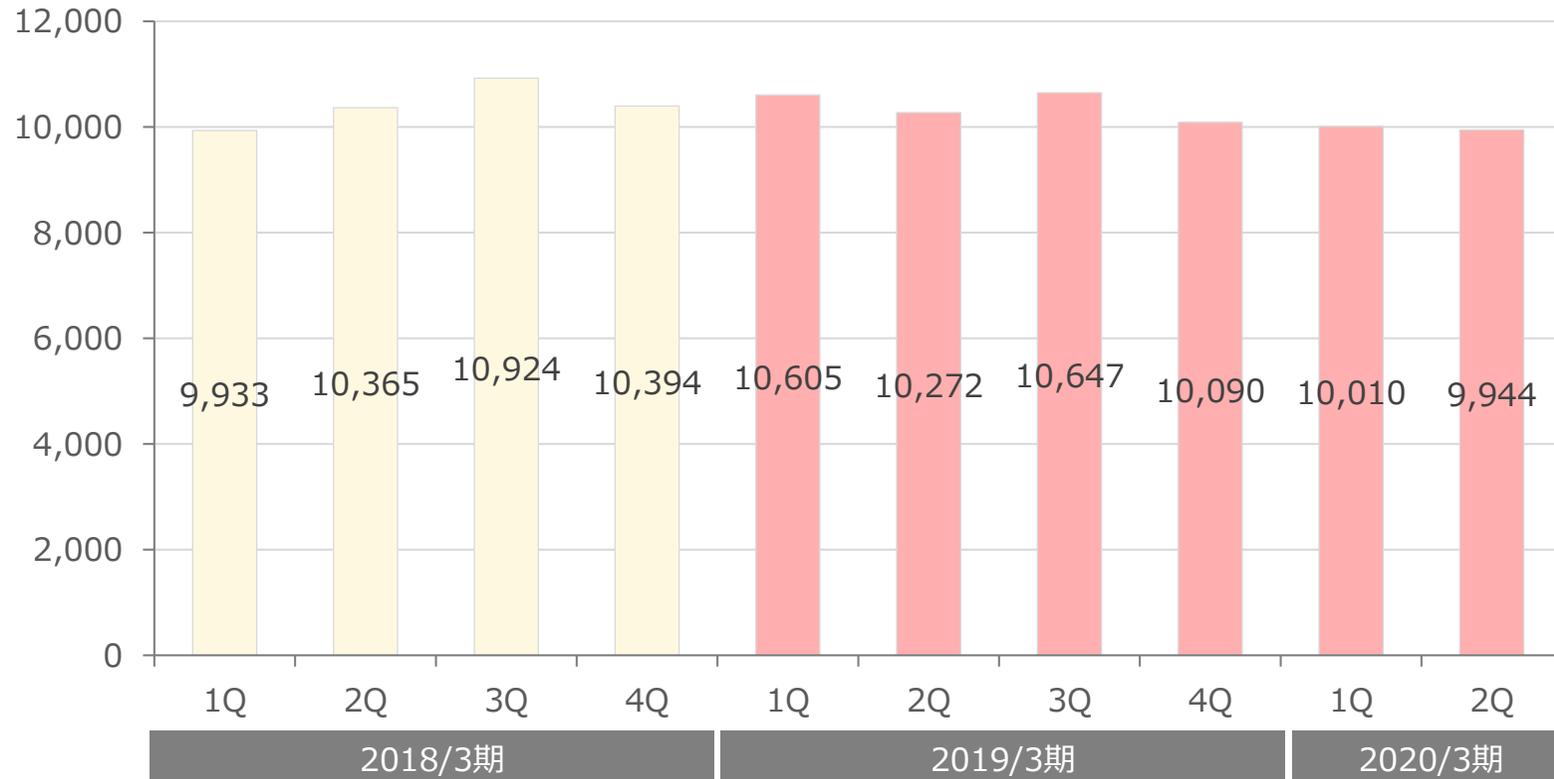
IV. 参考資料

暮らしのさまざまなシーンで活躍するバンドーの製品



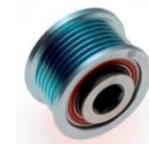
セグメント情報：自動車部品事業

売上収益（百万円）



主要製品

自動車用伝動ベルト製品（補機駆動用伝動ベルトおよび補機駆動用伝動システム製品）、二輪車用伝動ベルト製品（スクーター用変速ベルト）など



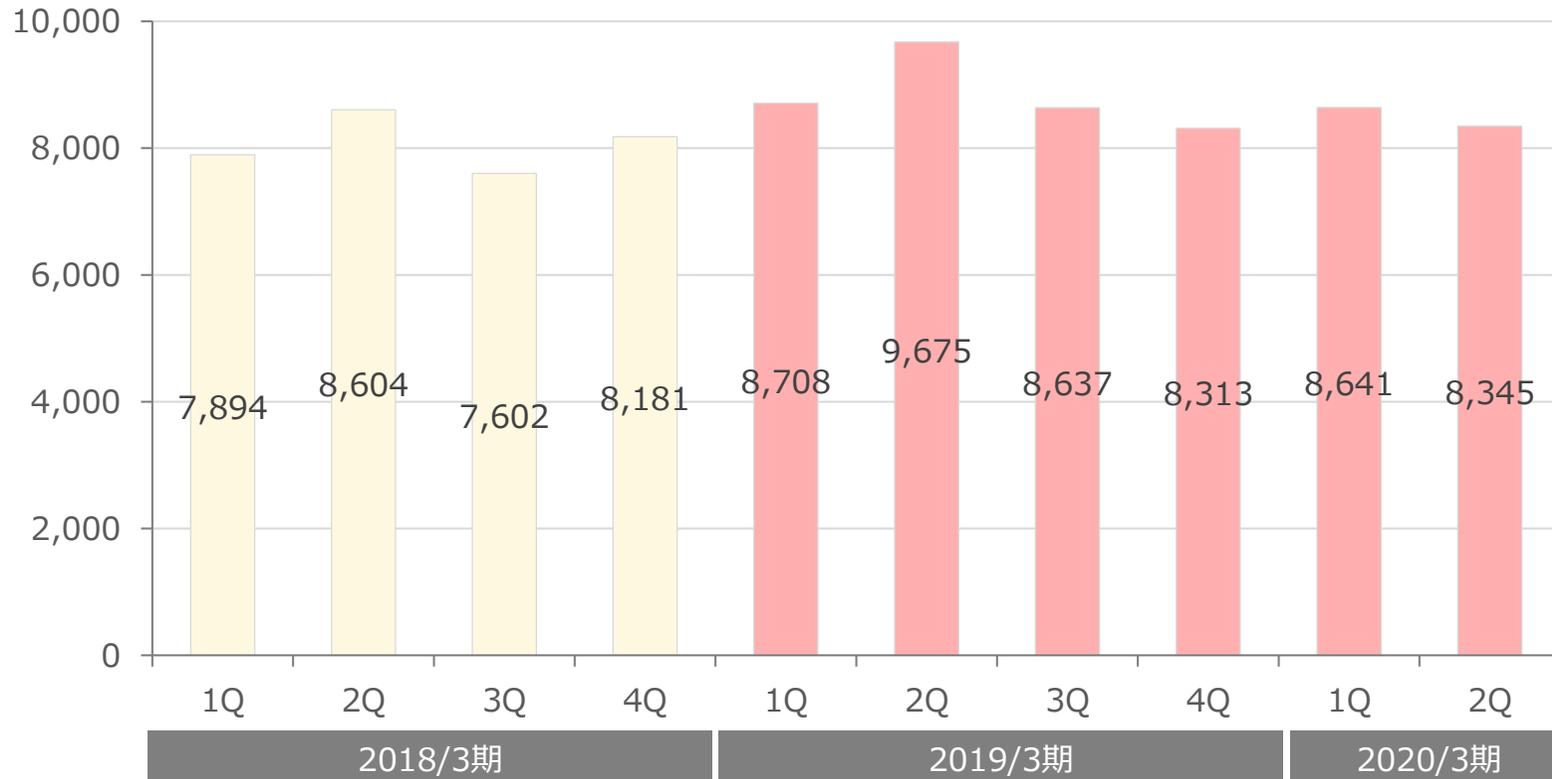
●自動車用補機駆動ベルト

●オートテンショナ

（注）売上収益はセグメント間取引消去後。2018/3期は売上高（日本基準）を使用。

セグメント情報：産業資材事業

売上収益（百万円）



主要製品

一般産業用伝動ベルト製品（産業機械用Vベルト、歯付ベルト、プーリなど）、その他伝動用製品、運搬ベルト（コンベヤベルト、樹脂コンベヤベルト、同期搬送用ベルト）、運搬システム製品、もみすりロールなど



●産業機械用駆動ベルト



●農機用駆動ベルト

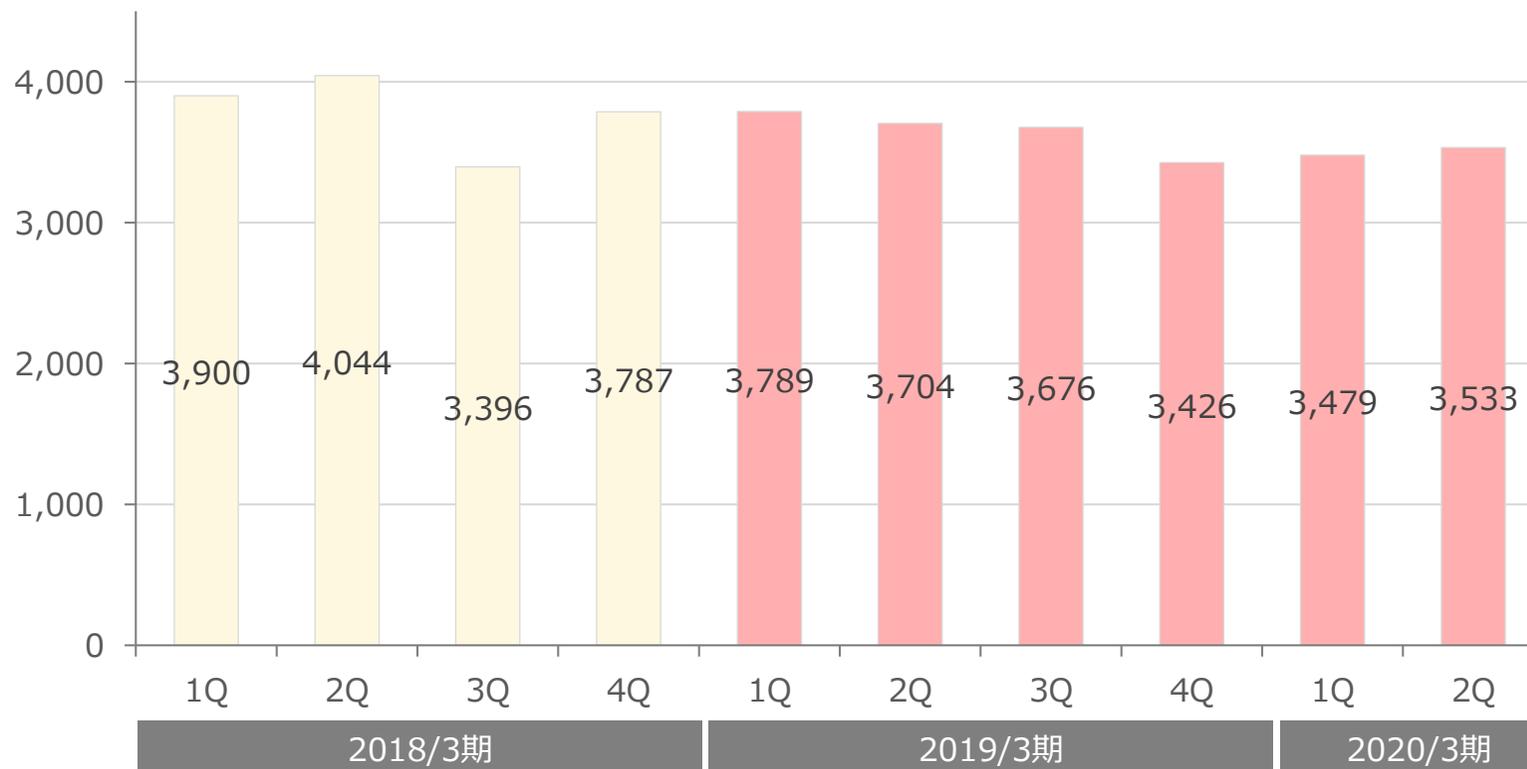


●コンベヤベルト

（注）売上収益はセグメント間取引消去後。2018/3期は売上高（日本基準）を使用し、かつ、セグメント変更前。

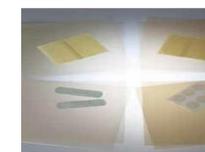
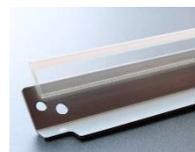
セグメント情報：高機能エラストマー事業

売上収益（百万円）



主要製品

クリーニングブレード、高機能ローラ、精密ベルト、ポリウレタン機能部品、精密研磨材、建築資材用フィルム、医療用フィルム、装飾表示用フィルム、工業用フィルムなど



●精密機能部品製品

●機能フィルム製品

(左：クリーニングブレード 右：高機能ローラ)

(注) 売上収益はセグメント間取引消去後。2018/3期は売上高（日本基準）を使用し、かつ、セグメント変更前。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。